



事務所版「短観」

(4~9月のごあいさつ)

平成 21 年 10 月 8 日 (木)

いつの間にか夏が過ぎてしまいました。

6ヶ月間も「今月のごあいさつ」をサボっておりました。6ヶ月の間には色々なことがあり、感じたり、学んだり、やり遂げたり、失敗したことがたくさんありました。

手帳で振り返ると月々のごあいさつを書けそうですが、やはり古いものになってしまって、これらで「ごあいさつ」するのは失礼だと思いました。

6ヶ月を振り返るにはちょうど適切なものがあります。

実は日本銀行の「短観」に習って、去年から始めて約1年半になりますが、事務所のお客様約100社の財務状況(売上高、経常利益、キャッシュフロー、設備投資、従業員数など)を検討して事務所の短観としています。

その方法は、お客様各社の月次決算を元に期末の数値や状況を予測して業況を判断したり検討します。

それを翌月1日にまとめて、今後6ヶ月程度の予測とするわけです。

途中の集計項目の変更もあり、また私の独断による予測も幅をきかせておりますので日銀ほどの迫力はありませんが、簡単に紹介しますと、

時 期	黒字比率 %	売上高 B¥	経常利益 B¥
H20.03 (確定値)	85.6	320	6.8
H20.09 (確定値)	81.4	336	5.0
H21.03 (確定値)	82.5	315	4.7
H21.09 (予測値)	78.4	295	4.2
	(91.6%)	(92.2%)	(61.8%)

(注) 確定値はその時点、予測値6ヶ月先程度

と、こんな具合に推移しています。

この6ヶ月間の变化する数字を振り返ると、サブプライム問題による金融不安、リーマンショック、国際会計基準の統一化の進展、30兆円の緊急保証融資、インフルエンザなどによる観光の不調、民主党政権...様々な出来事などが思い出されて興味深い感があります。

2年前には90%台の黒字比率であったお客様の財務状況が徐々に悪化しており、これを改善することに少しでも役立てればと考えています。